

琉球大学発ベンチャー認定企業一覧

2026年3月現在

認定年度		企業名	代表者名	研究者	企業概要	称号
H29	1	株式会社Grancell	奥田もえり	学術顧問 清水 雄介	再生医療事業、化粧品事業、ライフサイエンス事業	1号
H29	2	株式会社ジェクタス・イノベーターズ	新川 武	新川武	ワクチン開発事業(分子設計/分子生物学・生化学・免疫学的実験/感染動物実験)	2号
H29	3	株式会社ヘルシーアイランズ	藤井 裕正	屋 宏典	食料品、健康食品、医薬品、医薬部外品、化粧品の企画開発 農産物、林産物、水産物及びこれらの加工品の生産販売	3号
H29	4	琉球ボーテ株式会社	島田 邦男	照屋 俊明	沖縄由来の原料の開発、販売およびそれを配合したOEM製品の開発・製造・販売	4号
H30	5	株式会社沖縄リサーチセンター	飯田 峰彦	照屋 俊明	バイオ医療(県境食品、サプリメント)	5号
H30	6	一般社団法人アントレプレナーシップラボ沖縄	名幸 穂積		起業支援事業、教育事業、大学発ベンチャー創出支援事業	7号
H30	7	RePHAGEN株式会社(リファージェン株式会社)	村上 明一	村上 明一	医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、試薬等の研究開発及び受託、開発品の特許販売 抗原および抗体の研究開発及び研究開発の技術指導、受託、開発、製造、輸出入、販売 など	8号
R5	8	株式会社サウスウッド	竹谷 昌敏	医学部 教授 楠瀬賢也	超音波診断装置を起点とした医療AIサービスの提供	9号
R5	9	琉球コーヒーエナジー株式会社	高木 伸明	農学部大学院農学研究科 M2 高木伸明	IT統合制御型コーヒー栽培、アグロビジネス、教育(コーヒー学、CGI認証プログラム)、 ソーラーファームング	10号
R5	10	みらい共創マルシェ株式会社	羽賀 史浩	研究推進機構共創拠点運営部門 特命教授 羽賀史浩	陸上養殖プロジェクト発の知的財産を活用した商品の開発、販売、ノウハウ等を活用した ワークショップの企画、運営	11号
R5	11	株式会社サステインハピネス	古波蔵 健太郎	琉球大学病院 血液浄化療法部 部長 准教授 古波蔵 健太郎	地域自治体における慢性腎臓病重症化予防支援のためのデジタルツールを用いた支援 及びコンサルティング	12号
R5	12	株式会社リテックフロー	瀬名波 出	工学部 教授 瀬名波 出	海藻養殖効率化技術を用いた障がい者雇用を行うソーシャルビジネス、カーボンリサイク ル技術によるSDGs型ビジネス	13号
R6	13	合同会社SHIMA Factory	富山潤	工学部富山潤	自然に優しい「しまじオポリマーコンクリート」商品開発・製造技術支援・植物資源(リグニン)を利用 した新素材の商品開発・技術支援	14号
R6	14	株式会社リュウエル	泉 晃	医学部先端医学研究センター 特命准教授 泉 晃	スマート遠隔医療ソリューション開発、デジタルバイオマーカー開発、予防医療ソリューシ ョン、ヘルスケアデータ関連事業、研修教育事業	15号
R6	15	ORNIS株式会社	松本 徹三	工学部名誉教授 藤井 智史	海洋レーダーネットワークの展開によりデータを一括収集し、ユーザーのニーズにマッチした 解析や手段により、適切で有益な海況データを生成・提供する。	16号
R6	16	株式会社aqua recolte	島袋 亮道	研究推進機構 共創拠点運営部門 特命教授 島袋 亮道	魚介類の養殖、販売及び加工、水耕栽培による野菜及び果物の生産、販売及び加工、魚 介類の養殖設備の制作等	17号
R6	17	株式会社琉球GLOCALサービス	山元 淑乃 プラタツプ・アロック	グローバル教育支援機構 准教授 山元 淑乃	本学理工学研究科卒業生(留学生)がSTEAM教育を担う、不登校児を対象としたオルタナ ティブスクールおよび学童の運営、高度外国人材(IT)の育成および就職支援、地域の一 次産業の活性化に資するAIを活用したロボットの研究および開発。	18号
R6	18	株式会社琉球科学教育研究会	梅田 雄飛	教育学部・地域連携推進機構 准教授 福本 晃造	科学教育に関する事業。小学4～6年生対象の科学クラブ運営、未就学児から中学3年生 対象の科学実験教室の運営	19号
R6	19	株式会社ラフィネット	米倉 勲	教育学部 准教授 福本 晃造	水処理技術をコア技術として、技術の社会実装や研究開発のコンサルティング事業に取り 組んでいる。淡水の水処理技術を活用したウォーターサーバー事業、海水の水処理技術 を活用した海水浄化装置販売、保守管理事業	20号
R6	20	株式会社ARK	吉田 勇	研究推進機構 共創拠点運営部門 特命准教授	陸上養殖装置の研究開発販売及び、装置にて飼育した生体の販売	21号
R7	21	琉球昆虫(株)	藤田 匠	鹿児島大学大学院連合農学研究 科 (琉球大学農学部) 藤田 匠	食用昆虫の養殖、昆虫食の加工・製造・販売、昆虫飼料の開発、[種の保存]に関する活 動	22号

【問い合わせ先】
研究推進課 産学連携推進係
担当: 印南
e-mail:sangaku@acs.u-ryukyu.ac.jp Tel:098-895-8031



琉大 第 22号

称 号 記

名 称 琉球昆虫株式会社
代 表 者 藤田 匠
設立年月日 2024年8月1日

国立大学法人琉球大学における大学発ベンチャーの認定に関する規程第5条に基づき、「琉球大学発ベンチャー」の称号を授与します

2026年 2月 20日

国立大学法人琉球大学
学 長 喜納 育



○国立大学法人琉球大学における大学発ベンチャーの認定に関する規程

(平成 29 年 3 月 22 日制定)

改正 平成 30 年 3 月 30 日 令和元年 7 月 5 日

令和 2 年 3 月 31 日 令和 7 年 11 月 4 日

(趣旨)

第 1 条 この規程は、国立大学法人琉球大学(以下「本学」という。)における大学発ベンチャーの円滑かつ適正な支援を図るため、大学発ベンチャーの認定に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第 2 条 この規程において、「大学発ベンチャー」とは、次の各号のいずれかに該当するものをいう。

- (1) 本学又は本学の職員等(本学職務発明等規程第 2 条第 1 項第 4 号に規定する者。以下「職員等」という。)が所有する知的財産に基づいて起業したもの。
- (2) 本学で達成された研究成果または習得した技術やノウハウ等に基づいて起業したもの。
- (3) 職員等がベンチャー企業の設立者となり、又はその設立に深く関与し起業したもの。ただし、職員等の退職又は卒業等から起業までの期間が 3 年以内のものに限る。
- (4) 起業する者の持つ技術やノウハウ等を事業化するため、起業まで 3 年以内の期間に本学との共同研究等により起業したもの。

(認定の手続き)

第 3 条 大学発ベンチャーの認定を受けようとする者(以下「申請者」という。)は、「大学発ベンチャー認定申請書」(様式 1)に必要書類を添えて、本学研究共創機構(以下「機構」という。)の長を経由し、学長に提出するものとする。

- 2 学長は、前項の申請があったときは、機構長に認定の可否を諮問するものとする。
- 3 機構長は、機構に設置する本学起業支援委員会(以下「起業支援委員会」という。)において、申請内容及び事業内容等について検討を行わせ、その結果の報告を受けるものとする。
- 4 機構長は、前項の報告をもとに研究共創機構運営会議において認定の可否を決定した後、学長へ報告するものとする。
- 5 学長は、前項の結果を踏まえ認定の決定を行うものとし、認定すべきものと認めた場合、その結果を文書により申請者に通知し、役員会に報告するものとする。

(申請の条件)

第 4 条 大学発ベンチャーの申請は、次の各号すべての要件を満たす場合に、申請を行うことができる。

- (1) 第 2 条に規定する大学発ベンチャーの定義に該当していること。

- (2) 事業内容等が公序良俗に反しないこと。
- (3) 本学に対する名誉毀損、誹謗中傷、業務妨害等のおそれがないこと。
- (4) 職員等が起業したものにあっては、国立大学法人琉球大学職員の兼業に関する規程(平成16年4月1日制定)及び本学国立大学法人琉球大学利益相反マネジメント規程(平成16年4月1日制定)その他本学における関係規則等に定める所要の手続き、許可等が適正になされていること。

(称号の授与)

第5条 学長は、第3条第5項に基づき認定を受けた者(以下「認定大学発ベンチャー」という。)に対し、「称号記」(様式2)により、「琉球大学発ベンチャー」の称号を授与するものとする。

(本学の法的責任)

第6条 第3条第5項の認定及び前条の称号の授与は、本学に何ら法的責任を生じさせるものではない。

(事業報告書等の提出及び報告)

第7条 認定大学発ベンチャーは、年度毎に適宜の様式により、機構長を経由して、事業報告書及び収支決算書を学長に提出しなければならない。

2 認定大学発ベンチャーは、次の各号のいずれかの適用を受けた場合は、機構長を経由して、速やかにその旨を学長に報告しなければならない。

- (1) 会社法(平成17年法律第86号)に定める解散
- (2) 破産法(平成16年法律第756号)に定める破産手続
- (3) 民事再生法(平成11年法律第255号)に定める再生手続
- (4) 会社更生法(平成14年法律第154号)に定める更生手続
- (5) 不正競争防止法(平成5年法律第47号)に定める不正競争を行い、裁判によって同法第21条に定める罰金刑が確定

(認定の解除)

第8条 認定大学発ベンチャーは、第3条第5項に基づく認定の解除及び第5条により交付された称号の返付を、機構長を経由して、学長に申し出ることができるものとする。

2 学長は、前項の申し出を受けたときは、これを認めるものとする。

3 前項により認定の解除を受けた者は、速やかに称号記を返付するものとし、当該解除を受けた日以降、琉球大学発ベンチャーとして認定を受けていた事実を事業活動に使用してはならない。

(認定の取消し)

第9条 学長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、起業支援委員会及び機構長の判断を踏まえ、大学発ベンチャーの認定を取消すことができる。

- (1) 認定大学発ベンチャーの事業活動が、第4条各号の要件を逸脱した場合
- (2) 認定大学発ベンチャーが社会的信用を失墜する行為を行った場合

(3) その他本学の名誉を毀損するおそれがある場合で、「琉球大学発ベンチャー」の称号を保持させることが適当でないとき、学長が認める場合

2 前項により認定の取消しを受けた者は、前条第3項の規定を準用し、同規定の手続きを遵守しなければならない。

(大学発ベンチャーの支援)

第10条 本学は、認定大学発ベンチャーに対し、本学の管理運営及び教育研究に支障のない範囲において、次の各号に掲げる支援を行うことができる。

(1) 機構が管理するインキュベーション室に空きがある場合に、別に定めるところにより使用の申請があったときは、これを優先的に許可すること。

(2) 前号の規定により使用を許可したインキュベーション室を所在地として商業登記を行うことについて、これを許可すること。

(3) 研究プロジェクトの構築、他企業との連携、知的財産の創出、起業化等の支援を行うこと。

2 学長は、前項第2号の支援を受けようとする認定大学発ベンチャーから「商業登記許可申請書」(様式3)による申請があった場合は、「商業登記許可について」(様式4)によりこれを許可するものとする。

3 第1項の支援期間は、原則として認定後3年間を限度とする。ただし、学長が必要と認めた場合は、2年間延長することができる。

4 学長は、認定大学発ベンチャーから前項の但し書きにより延長申請があった場合は、起業支援委員会及び機構長の判断を踏まえ、延長の可否を決定するものとする。

5 認定の解除(第8条第2項)及び認定の取消し(第9条第1項)に該当した場合は、第1項の支援を停止するものとする。

(事務)

第11条 大学発ベンチャーの認定に関する事務は、知創推進部研究推進課において処理する。

(雑則)

第12条 この規程に定めるもののほか、大学発ベンチャーの認定に関し必要な事項は、学長の承認を得て、機構長が別に定める。

(改廃)

第13条 この規程の改廃は、研究共創機構運営会議の議を経て機構長が行う。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則(平成30年3月30日)

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則(令和元年7月5日)

この規程は、令和元年7月5日から施行する。

附 則(令和2年3月31日)

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則(令和7年11月4日)

この規程は、令和7年11月4日から施行し、令和7年7月1日から適用する。

様式1(第3条関係)

国立大学法人琉球大学発ベンチャー認定申請書

[別紙参照]

様式2(第5条関係)

称号記

[別紙参照]

様式3(第10条関係)

商業登記許可申請書

[別紙参照]

様式4(第10条関係)

商業登記許可について

[別紙参照]

会社紹介

鹿児島大学大学院連合農学研究科

琉球大学農学部 昆虫学研究室

藤田 匠



会社概要

商号：琉球昆虫株式会社

設立：2024年8月1日

所在地：沖縄県うるま市勝連浜19



琉球昆虫

うるま市浜比嘉島地域交流拠点施設HAMACHŪ



浜比嘉島のマップ

出典：(一社) プロモーションうるま



HAMACHŪ校舎 (旧:浜中学校)



周辺環境

“沖縄県発” 亜熱帯地域で活動する昆虫スタートアップです！

企業理念

昆虫の総合的な産業利用

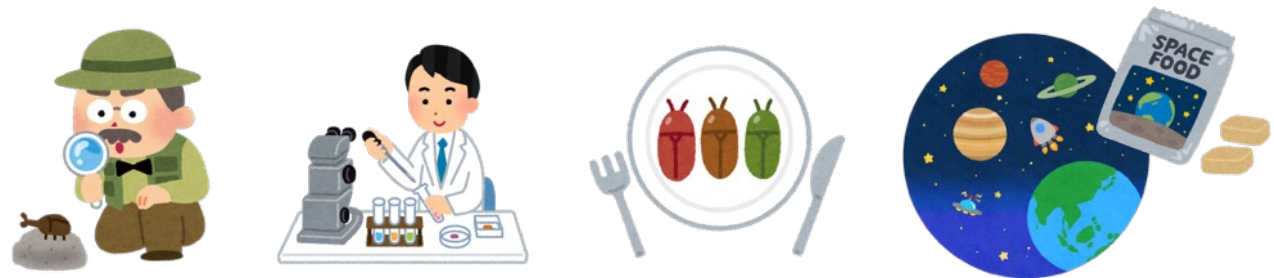
これまで

昆虫 = 害虫



これから

昆虫資源の有効利用



昆虫の生理・生態を科学的に調べ、人間社会に役立てる！

研究対象の食用昆虫たち

ヤシオオオサゾウムシ



和名: ヤシオオオサゾウムシ
学名: *Rhynchophorus ferrugineus*
原産: 東南アジア（熱帯、亜熱帯地域に広く分布）
体長: 22-35mm

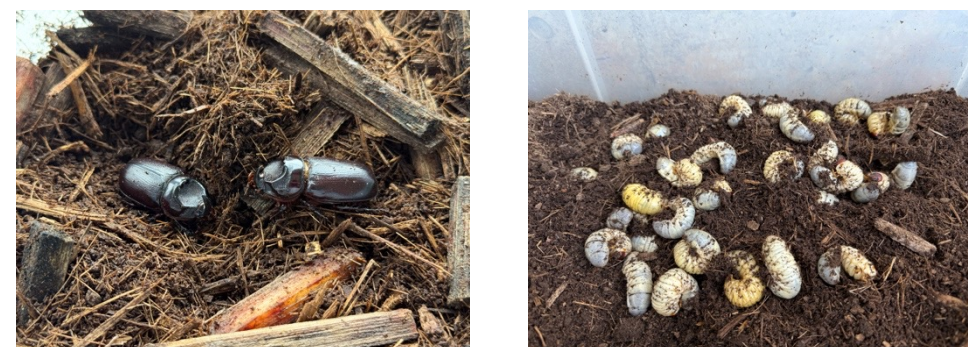
食料資源としての可能性

- ・食経験があり、栄養価が高い。（特に**脂肪酸が豊富**）
- ・広食性のため**食品残渣**で**飼育**できる可能性がある。
- ・栄養が豊富なことから、タイでは**宇宙食**に提案されている。



人間が体内で合成できない不飽和脂肪酸を豊富に含むことから、機能性成分の新規発見も期待される。

サイカブト



和名: サイカブト（台湾カブトムシ）
学名: *Oryctes rhinoceros*
原産: 東南アジア、インド、中国南部、ハワイ など
体長: 30-45mm

食料・飼料資源としての可能性

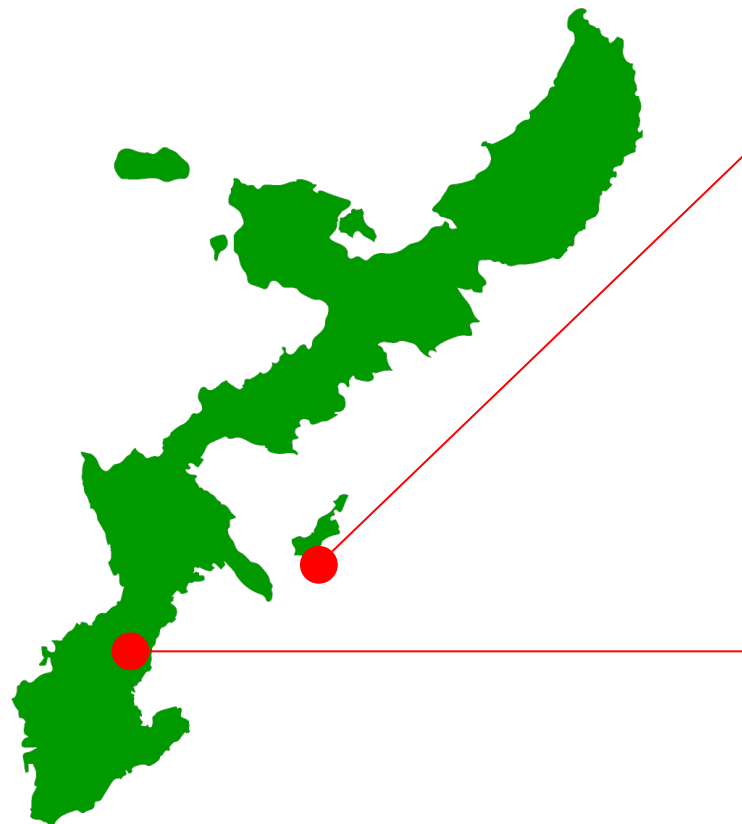
- ・食経験があり、栄養価が高い。（特に**タンパク質**）
- ・広食性のため**食品残渣**で**飼育**できる可能性がある。
- ・**沖縄県内で通年発生**しており、繁殖させやすい。



未利用資源から動物性タンパク質を作り出すことが期待される。

食用昆虫の養殖

沖縄県内の養殖拠点



琉球昆虫



国立大学法人 琉球大学
農学部
Faculty of Agriculture

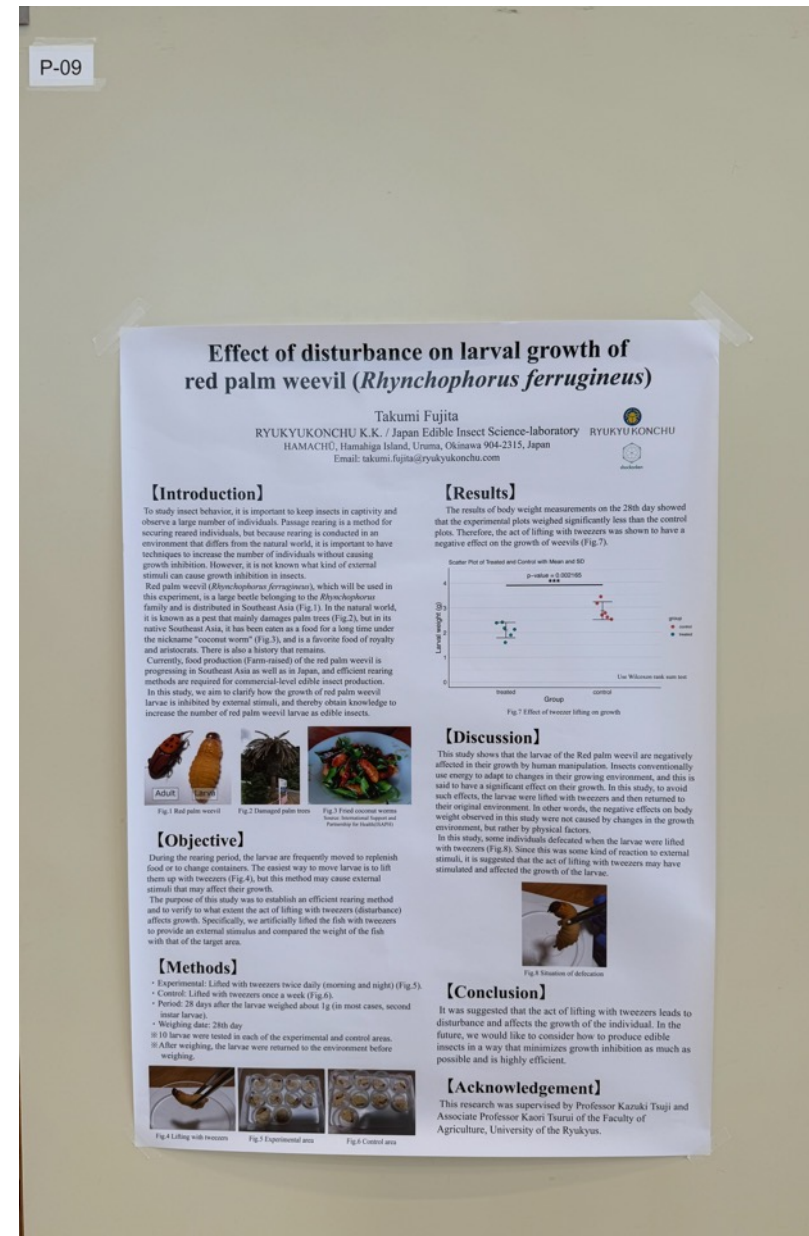


浜比嘉島（うるま市）



昆虫学研究室（西原町）

研究成果の発信



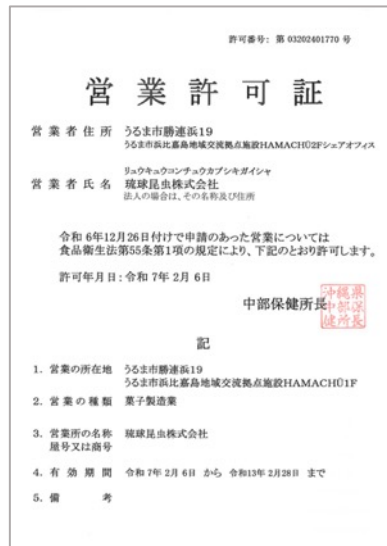
The Joint Meeting of the Annual Meeting of the Society of Population Ecology and Taiwan-Japan Ecology Workshop 2024 (沖縄タイムスビル、2024年12月)

県産昆虫食の加工・販売

HAMACHŪ内で加工

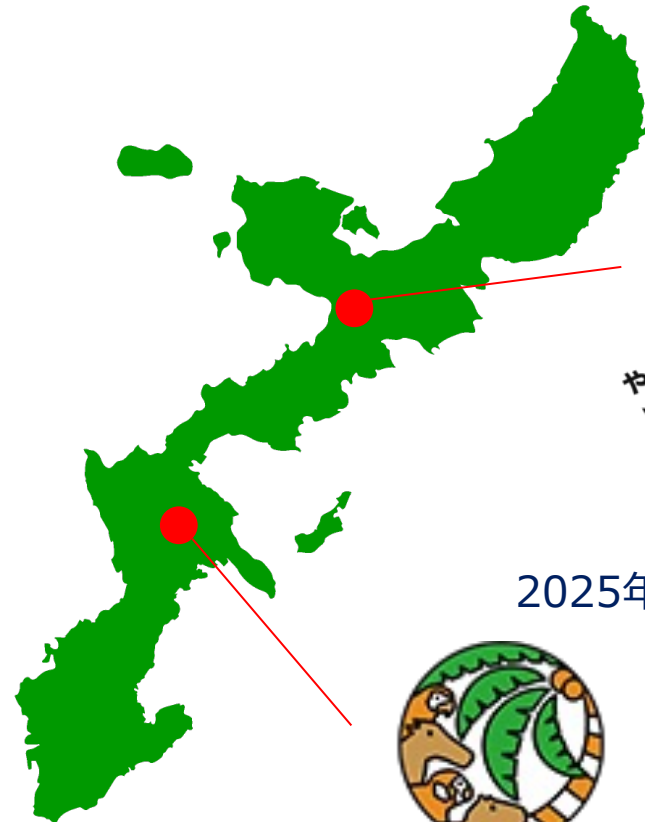


凍結乾燥の様子



営業許可証

県内の販売先



2025年12月～



やんばる物産 株式会社
Yanbaru Bussan Co., Ltd.
道の駅許田



2025年8月～



美らヤシパークオキナワ
東南植物楽園
SOUTHEAST BOTANICAL GARDENS



自社加工商品

▼商品情報



■王族が愛したご馳走 “ココナッツワーム”

“ココナッツワーム”はヤシオオサゾウムシと呼ばれるコウチュウ目の昆虫で、ベトナム王朝時代にフエ（Hue）の王様の食卓にだけ供される高価な食材でした。また、北京の皇帝への貢物としても贈られていた歴史のある昆虫で、栄養価も豊富なことから現代の東南アジアではご馳走として親しまれています。

★特徴

- ・沖縄県内（浜比嘉島）で加工
- ・タンパク質や脂肪酸が豊富
- ・丸ごと食べられる（一口サイズ）
- ・宇宙食にも提案されている



▼メディア情報



沖縄タイムス（2025年7月16日）



QAB放送「17のたね」（2025年9月9日）

宇宙食の可能性 (琉大から宇宙食を)

Chula
Chulalongkorn University

ABOUT ▾ ACADEMICS ▾ RESEARCH & INNOVATION ▾ SERVICES ▾ NEW!

チュラロンコン大学 (タイ) のプレスリリース

CU IN THE NEWS

タイトル
『宇宙飛行士の食事としてサゴワーム※を提案』

Sago Worm Billed as Astronaut Food

5 October 2022 Bangkok Post

※サゴワーム = ヤシオオサゾウムシ



A big round of applause to the Keeta team, the cooperation of Thai aerospace engineers from Chulabhorn Royal Academy, Chulalongkorn University, Walaya Alangkorn Rajabhat University, and other private sector who will represent Thailand and Asia in the second round of the "Deep Space Food Challenge", an international competition organised by Nasa in partnership with the Canadian Space Administration (CSA) and the Methuselah Foundation.

The organisers are looking for novel and game-changing food technologies or systems that require minimal resources, produce negligible waste, and maximise safe, nutritious, and portable food output for long-duration space missions.

The team proposed the sago worm which is the larva of *Rhynchophorus ferrugineus* found in sago palm trunk. The sago worm can create a reliable food production system for a long-term mission of up to three years without any resupply from Earth. The worm is rich in protein and fat and is ideal for human consumption and fat and is ideal for human consumption. They can also be raised in an enclosed environment and are easy to harvest and maintain over long periods.

The Keeta team is currently endeavouring to move into the next phase of the competition and will be ready for an inspection by the Nasa team early next year.

THAI FOOD WISDOM TARGETS OUTER SPACE MISSION

Thai aerospace engineers have entered the second phase of a NASA competition by proposing Thai food wisdom - The Sago worm - to feed future astronauts during long-duration space voyages

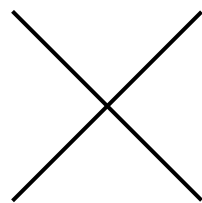


<https://thailand.prd.go.th> PR Thai Government

要約

研究チームは宇宙食の一つとして *Rhynchophorus ferrugineus* (ヤシオオサゾウムシ) の幼虫であるサゴワームを提案した。サゴワームには地球からの補給なしで最長3年間の長期ミッションに耐えられる信頼性の高い食糧生産システムを構築できる可能性がある。サゴワームはタンパク質と脂肪酸を豊富に含み、人間の食料に最適である。また、密閉された環境で飼育することもでき、収穫や長期間の維持が容易である。

産学連携 (北部農林高校)



琉球昆虫



食品科学科との商品開発



昆虫スイーツを試作



11/29にOISTで開催された「高校生の研究コンテスト」にて発表

県内の洋菓子店に商品化を相談中

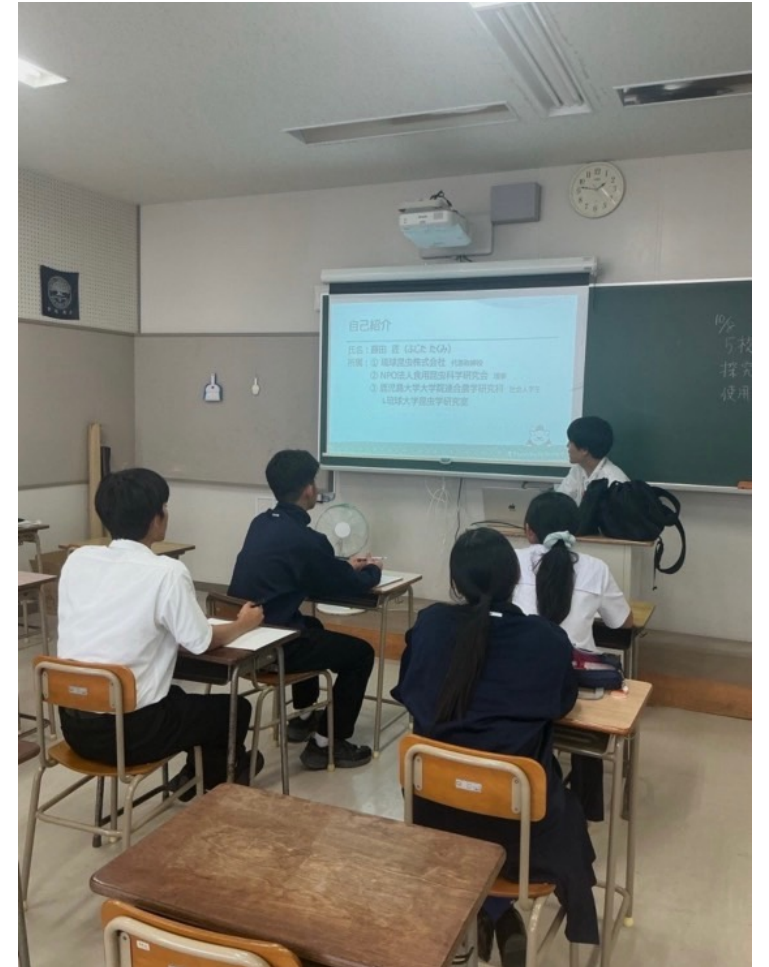
昆虫の教育的な普及・啓蒙活動



昆虫食イベント
@琉球大学千原キャンパス



科学イベント (サイエンスアゴラ)
@日本科学未来館、東京都



高校授業 (探究活動)
@普天間高校



トークイベント (昆虫ナイトサファリ)
@東南植物楽園



ピッチイベント (MEET UP 2025)
@沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター

県内外で幅広く活動中

昆虫飼料の研究開発



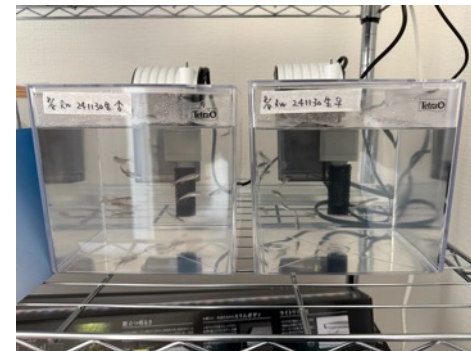
鹿児島大学大学院連合農学研究科
The United Graduate School of Agricultural Sciences
Kagoshima University



琉球大学
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

昆虫学研究室
Entomology Lab.

- ・主指導教員 : 辻 瑞樹 先生 (琉球大学)
- ・第一副指導教員 : 鶴井 香織 先生 (琉球大学)
- ・第二副指導教員 : 大塚 彰 先生 (鹿児島大学)



ゼブラフィッシュ



サイカブト (幼虫)

研究テーマ : 『昆虫飼料が魚の成長に与える生理・生態的研究』



事業活動の相関図 (案)



支援メニューの活用



県内の食肉・飼料メーカーとの提携



県内スポーツチームとの連携 (食領域)

県内の市町村

- ・産業創出
- ・農畜水産業の活性化



産学官連携



産学連携



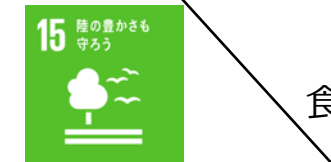
宇宙食
昆虫養殖

県内観光客
年間1,000万人



県内で消費 (地産地消)

琉球昆虫



未利用資源
(食品残渣)

- ・ホテル
- ・観光施設
- ・地元スーパー



沖縄県フードロス
6.1万トン/年間 (家庭6割、事業4割)

未利用資源を食用昆虫のエサに利用することで

- ① 資源の有効利用
- ② CO2削減など

就職&研究 (研究成果の社会実装)

飼料利用

未利用資源
(ミーバイの糞)

食料利用

陸上養殖 (複数魚種での実証)



琉球大学
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS



琉大ミーバイ



琉大ハニー

